

# 『文明とマネジメント』投稿規程

## 1. 『文明とマネジメント』はNPO法人ドラッカー学会の機関誌である。

P. F.ドラッカーの知的業績全般を対象とし、その分野での理論と実践の架け橋を指向する。「ドラッカーによる知的体系に関する理論面での研究」と「その実践面への応用ないし手法の研究」を編集の主軸とする。いずれも、実務家の会員に配慮し、実務の遂行にあたり、有用な指針を提供するものとなるべく指向する。

## 2. 原則

- (1) 『文明とマネジメント』は、当分の間、年1回刊行する。
- (2) 原稿はP. F.ドラッカーに関連した研究およびそれと密接に関連する分野の未発表の論文などとする。
- (3) 原稿本文における使用言語は、日本語または英語とする。
- (4) 投稿者は本学会会員とする。共著論文の場合は筆頭執筆者が本学会会員であることが必要である。投稿者の掲載名称は実名とする。
- (5)ただし、会の活動に有益と認められる場合、編集委員会の判断により、会員以外の研究者に寄稿を要請する場合がある。

## 3. 原稿の種類・文字数等

- (1)論文 ドラッカーの知的業績に関する理論的研究ないしその実務面への応用に関する論文。
- (2)研究ノート 論文に準ずるもの。例えば、研究テーマ、理論・手法についての着想の提示、研究結果の中間発表、学界・実務界の動向の紹介等。
- (3)実践レポート 例えば、企業経営、マーケティング、戦略論等に関する調査レポート、日常業務から得た実証データの紹介、その他上記に関し特に注目すべき実践事例等についてのレポート。
- (4)批評・書評 ドラッカー著作、あるいはその関連書籍あるいは論文に関する評論、書評、エッセイ。
- (5)原稿の提出にあたっては、上記の原稿のどの種類にあたるかを事前に申請する。
- (6)掲載文字数等は以下のように定める。論文は字数 15,000 字以内、研究ノート、実践レポートは字数 7,000 字以内、その他(評論、書評、エッセイ等)は字数 4,000 字以内とする。
- (7) 論文、研究ノートについては、査読制度(Referee system)に基づいて掲載の可否を決定する。

## 4. 原稿の提出

- (1) 執筆者は、別添「執筆要領」に基づいた原稿をNPO法人ドラッカー学会事務局へ提出する。
- (2) 執筆者は、採択された原稿をワードプロセッシング・ソフトで作成し、電子ファイルをNPO法人ドラッカー学会事務局へ提出する。
- (3) 日本語を母語としない執筆者が日本語で投稿する際には、投稿の前に日本語を母語とする者の校正を受けた上で原稿をNPO法人ドラッカー学会事務局へ提出する。

## 5. 原稿の審査

- (1) 原稿の掲載可否については、編集委員会が決定する。
- (2) 原稿の記述が投稿規程を逸脱していると判断される場合は、編集委員会は執筆者に原稿の修正を要求することができる。
- (3) 編集委員会は、論文、研究ノートについて査読制度に基づき、必要と認めた場合には、加筆・修正等を執筆者に求めることがある。
- (4) 論文、研究ノート以外については、投稿され、掲載を可とされた論稿はいずれも原稿の提出をもって編集委員の責任校了とする。

## 6. 原稿料等・経費負担等

- (1) 原稿料は支払わないものとし、また投稿料は徴収しない。
- (2) 図表がそのままでは製版しがたいと認められ、かつ執筆者による書き直しも困難な場合には、執筆者と連絡の上、編集委員会の責任において書き改め、執筆者に実費を請求することがある。
- (3) 受け付けた原稿等は返却しない。

## 7. その他

- (1) 『文明とマネジメント』に掲載される原稿については、著作権のうち、複製権、翻訳・翻案権、公衆送信・伝達権を学会に譲渡する。

## 8. 本投稿規程の改訂は執行会議にて行い、理事会に報告する。

## 付則

- ・「『文明とマネジメント』投稿規定および編集方針」は2025年7月17日に廃止する。
- ・この規定は2025年7月18日から施行する。

# 『文明とマネジメント』執筆要領

## 1. 原稿文字数・用字等

- (1) 論文は字数 15,000 字以内、研究ノート・実践レポートは字数 7,000 字以内、その他(評論, 書評, エッセイ等)は字数 4,000 字以内とする。
- (2) A4 判の用紙にワープロを用いて横書きで書く。用紙の上下左右マージンは上が30mm, その他25mm の余白をとる。1頁あたり44文字×41行=1804文字を基準にして, 本文・注・図・表などすべてをまとめる。
- (3) 本文 10.5 ポイント, 図表, 注, 文献表記 9 ポイントで書く。文字フォントは明朝体を使用する。
- (4) 全角カンマ・全角ピリオド(.,)使用, 数字・アルファベット等は半角とする。
- (5) タイトルは和英文併記とし, 本文冒頭に 50 ワード程度の英文サマリーを添付する。
- (6) キーワードを本文と同一言語で 3 つ以上, 6 つ以内の範囲で付す。
- (7) 引用部分, 注については, 原則として文末脚注形式とする。
- (8) 常用漢字・新字体・新仮名づかいを用いることを原則とする。固有名詞・引用文等やむをえない場合に限り, この原則によらなくてもよい。
- (9) 人名・地名については, 日本語表記(漢字または片仮名書き)とする。
- (10) 文末に, 略歴を添付。形式は問わないが, 概ね「現職」「最終学歴」「職歴」「関心領域」「研究あるいは実務上の業績」等具体的な事実を掲載。
- (11) 氏名(ふりがな), 年齢, 住所, 職業(所属会社・機関・大学学部名, 役職名等), 電話番号, Fax 番号, E メールアドレス, 論稿の種別を本文から独立の表紙に明記する。なお, これらは本文中に含めない。
- (12) 論文, 研究ノートについては, 査読制度(Referee system)に基づいて掲載の可否を決する。その他については, 投稿され, 掲載を可とされた論稿はいずれも原稿の提出をもって編集委員の責任校了とする(要件を満たさないものは不掲載とすることがある)。
- (13) 論文, 研究ノートについては査読における匿名性を保持するために, 原稿中において, 執筆者が特定される表記法は用いないものとする。
- (14) 原稿ファイル(WORD 等一般的なソフト)を E メールに添付し, NPO 法人事務局に送付するものとする。

## 2. 要旨

- (1) 原稿とは別に要旨を 500 語 以内で記す。

## 3. 目次・本文

- (1) 節・項の見出しは, それぞれ 1, (1) のように付けることを原則とし, 項以下の見出しがある場合には, 1), 2), 3) あるいは a, b, c を用いる。

#### 4. 注

- (1) 本文中, 当該箇所<sup>の右肩に1), 2)</sup>のように付ける。
- (2) 注は, 本文の末尾にまとめて付ける。
- (3) 注文は, 番号ごとに改行する。

#### 5. 引用文献の表記

- (1) 他の著作物やウェブサイトからの引用については出所を明記するものとする。
- (2) 引用文献は, 本文や注の中では著者の姓と発行年, 引用箇所の頁を表記し, 論文末尾の参考文献リストで書誌情報をフル表記する。
- (3) 引用箇所に文献と引用ページのみを短く記せばよい場合は, 引用箇所に全角括弧をつけ, 著者の姓, 半角[]でくくった発行年, 引用箇所の頁を表記して記すことができる。  
例: ……と指摘されている(山田[2021])。
- (4) 表記法の詳細は, 編集委員会から提供されるテンプレートに準拠すること。

#### 6. 図及び表

- (1) 番号と標題について, 表は上段部分, 図は下段部分に記す。図や表の典拠などは図や表の下に注記する。
- (2) 図や表には, 第1表・第2表といった一連番号を付ける。第1表a, あるいは第1-a表などとはしない。
- (3) 図や表は電子データで作成するものとする(図表の切り貼りは不可)。作成にあたっては, 編集委員会から提供される論文作成用のテンプレートに準拠すること。

#### 7. 参考文献リスト

- (1) 参考文献は, 1), 2)のように通し番号を付けてリスト化し, 文末注の後に付ける。
- (2) 詳細は編集委員会から提供されるテンプレートに従う。

#### 8. 謝辞

- (1) 査読者に対する謝辞は記さないものとする。

9. 本執筆要領の改訂は編集委員会にて行い, 理事会に報告する。

#### 付則

- ・『文明とマネジメント』投稿規定および編集方針は2025年7月17日に廃止する。
- ・この要領は2025年7月18日から施行する。
- ・2025年9月17日 一部改訂